



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2024年6月 (2023年度) 通巻 414号

今月のテーマ：YMCA サポート・評価・次年度計画



会長	澁谷弘祐	クラブ会長主題 「親睦を通して、互いを知ろう」
副会長	小林勉	国際会長 ウルリック・ラウリドセン ‘Let Your Light Shine’ 「輝かそう、あなたの光を」
書記	宮地輝子	アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越クラブ) [変革のための光となるう]
会計	金本伸二郎	東日本区理事主題 山田公平(宇都宮クラブ)「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
		関東東部部長主題 長尾昌男(千葉ウエストクラブ)「親睦を糧にクラブライフの充実」

## 今月の聖句

いつも喜んでいなさい  
 絶えず祈りなさい  
 どんなことにも感謝しなさい  
 これこそ、キリスト・イエスにおいて  
 神があなたがたに望んでおられることです

テサロニケの信徒への手紙—  
 第5章16節～18節

## 6月 例会プログラム

日時：令和6年6月22日(土)  
 14:00～16:00

会場：埼玉 YMCA 子育て子育てセンター

司会 衣笠輝夫

- 1 開会点鐘 澁谷弘祐
- 2 木村利人氏紹介 山本剛史郎
- 3 木村利人氏講演
- 4 「幸せなら手をたたこう」合唱  
奏楽 浅羽俊一郎
- 5 グループによる感想
- 6 お礼の言葉 小谷全人
- 7 PR (ワークキャンプ、絵葉書コンクールなど)  
小谷全人・大澤和子
- 8 閉会点鐘 吉野勝三郎

## 発達課題を抱える子どもたち 澁谷実季

過去のブリテンを見返し、2019年4月と2020年3月に掲載してましたので今回3回目になります。

児童養護施設に勤めて8年目に入り、今年度から自立支援専門相談員としての役割が増えました。進学就職や将来設計を共に考え、具体的な手続き等寮の担当職員と担い、不登校児への進路指導、退所児のアフターケアなどを担当します。

神愛ホームでは現在、45名程の児童が生活をしています。全体を見ると発達に課題を抱えている子どもの割合が以前よりも増加していて、特に担当寮では在寮6名のうち3名が小学校特別支援学級に在籍し、幼稚園児2名も加配対象(特別支援教育の補助の先生をつけるための補助金申請をしている)として補助の先生がついている状況です。昨年度は幼稚園からの要請で毎日見守りをするために職員も登園している程でした。

子どもは、乱暴な言動や暴力性を身に着け、相手を脅迫や威圧することで自分を正当化するという行動をしまい、言語的な幼さ、自尊心の欠如から善悪の判断が難しい状況があります。要因として、養育者との愛着形成(アタッチメント)が不完全であり、心の安全基地が成立していないために、認知の歪みや発達など障害として表出しています。担当している小1の子は、「自分はできないんだ」との思いが強く、待つことが苦手、今すぐに要求を叶えて欲しいと言い、ぐずってしまうことが多々あります。その反面、私の傍に来て、身体接触(背中にくっつく)をして、スマホを自由に触り、安心感を得ようとします。可愛いと思われつつも、この子にとって自尊心を向上させるには何をすればいいのだろうかと悩みます。本人がやりたい気持ちになるのが一番いいですが、遊びたい、テレビが見たい等娯楽にすぐに行ってしまうため、無理強いをさせず、本人の気持ちに寄り添い、小さなステップを積み重ねていくことで、「でき

た」「やればできるんだ」という気持ちを味わえるように支援している所です。先日、出かけた先の道路でぐずってしまい、道に座り込み、石像になってしまったため無理矢理抱えて歩かせることがあり、もうこの子との外出はできないと思ってしまうことも実際にはあります。大人の心の余裕と待つてあげられる時間が必要だなど思わされた出来事でもありました。

特別支援に特化した小関京子さんから沢山学び、アドバイスを頂きましたが、のんびりとしていたら御国に帰って行かれてしまいました。寂しさと悔しさがいっぱいですが、子どもたちのスモールステップの成長に寄り添える支援ができるように学びたいと思います。

## 5月例会報告

小林ベン

5月11日 18時からYMCA 所沢センター2階会議室において、渋谷会長、実季さん、(すみれ君)、大澤さん、宮地さん、新会員の岡部さん、上山さん、金本さん、東さん、小林とゲストの池田さんの計11名の出席で5月例会が行われました。

例会のメインは岡部さんの歓迎会的なものになりました。岡部さんは3月に石神井公園での桜鑑賞・散策例会



前列左から2番目が岡部さん3番目はゲストの池田さん



で入会式を行っていますが、所沢センターでの初めて顔合わせした人も私を含めて多く、一品持ち寄りの夕食会で歓迎の宴を開きました。

=====

## 岡部さんの挨拶

わたしは38年間教師を定年まで勤めて退職しました。坂戸の学校で、5・6年と担任して初めて卒業生を送りました。その卒業生の中にはいまだに年賀状をくれる子

がいて「60歳の還暦になるので、同窓会をしたいと連絡をもらい、「還暦を祝ってあげなければと出席しました。2月11日にレストランに12人集まったところ、話が盛り上がり、LINEを交換したり、「先生と会えたから今がある」というように言う子もいて、「教師冥利に尽きる」という思いがしました。又その後日その参加した子のお母さんから電話をもらい、川越で会い5時間もお話ししたり、大変嬉しい出来事でした。

ワイズは一度退会したのですが、渋谷会長さんに連れてきていただけることから、また入会することになりました。どうぞよろしくお願いします。

=====

ゲストの池田美知子さんからワイズ LINEにご挨拶をいただきました。

## 池田美知子さんのご挨拶

～～先日は参加させていただきありがとうございました。やさしい雰囲気にもまれ温かな気持ちになりました。お写真ありがとうございました。渋谷牧師とお話できてよかったです。～～

黒田さんと太田さんの歓送迎会はお二人の欠席で次回延期となりました。

## ワイズ報告

渋谷弘祐

5月11日(土)例会は、所沢センターに於いて岡部さんの歓迎会を行い、持ち寄っていただいたお食事を頂きました。18日(土)関東東部評議会、部役員研修会に渋谷会長、大澤さん、宮地さんが出席しました。

## 今後の予定

渋谷弘祐

6月1日(土)東日本区大会、於:十勝プラザ

6月2日(土)川越クラブとの合同例会 14:00～

6月28日(金)準備例会

## 関東東部次期クラブ役員研修会報告 宮地輝子

5月18日(土)関東東部の次期クラブ役員研修会・第3回評議会が東陽町コミュニティセンターYMCAホールで開催されました。所沢クラブからは渋谷会長・大澤さん・宮地が出席しました。



評議会は構成メンバー42名のところ、出席22名委任状13名で、過半数に達し、評議会は成立しました。出席者が自己紹介を兼ねて、一言ずつ挨拶をし、次期関東東部会長の川越の山本剛史郎さんが個々のクラブの力が集まって大きな変革につながっていく、『我々は微力かもしれないが、無力ではない!』と述べました。そし



て、2024年関東東部大会が10月19日（土）に川越で行われることを説明、部大会に来て、川越祭りで楽しむと案内しました。次年度の第1回評議会は7月20日（土）東陽町のコミュニティセンターYMCAホールで開催されます。

## YMCA 報告 施設長 太田なぎさ チャイルドケアセンターこぐま 紹介

埼玉YMCAの中で一番小さい子どもたちが集まっている事業が「こぐま」です。0歳から2歳の天使11名と毎日過ごせる幸せを感じています。

天気の良い日は近隣の公園へお散歩に出かけます。すれ違う地域の方々が「どこに行くの」

「いってらっしゃい」「かわいいわね」と声をかけてくださり

園児は「いってきます」と元気に手を振ります。子どもたちの前では不思議と誰もが笑顔になってしまいます。



保育室の周りには公園がたくさんあります。線路沿いの公園では行き交う電車で手を振ったり、本物のSLが展示してある公園では運転席に入ってみました

り、砂場や滑り台はもちろん、虫や木の実を手にとって観察をしたり、園児は毎日公園遊びを楽しんでいます。



毎年、秋には牛乳パックで一人一つ「どんぐりバッグ」を作ります。公園へ行って集めたどんぐりは、クラブの時間の材料として、飾りを作ります。さらにはYMCAバスに乗り、お芋ほり（所沢市三ヶ島）やミカン狩り（武蔵村山市）に行ったり「ことばと児童館」にハロウィンの仮装をして遊びに行ったり、焼き芋会に招待をさせていただいたりもしています。10年目を迎えた地域型保育事業「チャイルドケアセンターこぐま」は所沢市の委託を受け、運営しています。全国



YMCAの保育理念は『イエス・キリストの『愛と奉仕の精神』に基づき、一人ひとりの命が輝く平和な社会の実現を目指します。』です。また「家族と同じように過ごせる安心な環境づくり」「正直であることを大切に、豊かに創造性・感受性を育成」「バランスのとれた健康な心と体を育成」「保護者とコミュニケーションを大切に、協力し合う関係を築く」の4つのこぐまの教育目標を掲げています。

少人数で家庭的な雰囲気の中、平日7:30~18:30の間、保育士が一人ひとりに手厚い細やかな保育を行っています。たくさんの方々に支えられ運営できていることに感謝をし、園児、保護者、地域の人々、そして保育者が輝く「こぐま」でありたいと願っています。人生100年時代と言われる中、その入り口として「こぐま」と出会えてよかったと思っただけのように、毎日を大切に運営しています。



## 小関さんとの思い出

～金本さんが所沢クラブのメンバーではないけれど、小関さんにご親交のあった尾山さんの追悼文をお寄せくださいました。凡そ25年前に藤沢北小学校の職員であった小関さんと、PTA会長であった尾山さんと出会ったのが小関さんがYMCAにかかわり始めた最初とお聞きしていたそうです。尾山さんは元YMCAの職員でいらしたとのことです。～

### 尾山謙仁

小関先生とは、息子が小学生だった時に交わりをいただきました。お互いクリスチャンであるということもあり、その後発達障害教育に主にあたえられ、埼玉YMCAでボランティアをしておられたのはとても懐かしい思い出です。最近では年賀状のやり取り程度でしたが、去年元子ども教会員が武蔵豊岡教会に通っていて亡くなったので、そこで葬儀がありました。小関先生とはニアミスで残念ながらお会いできなかったのですが、ご活躍をしておられるということを知り、教会員の方々に伺いました。冬でも半袖で学校の校庭を走り回っておられたのがとても印象的です。葬儀当日は予定が入っているため伺うことはできませんでしたが、天国での再会を楽しみにさせていただきます。

### 5月例会

所沢クラブ会員8名・ゲスト 1名

メネット1名・コメント1名

計 11名